

催し物のご案内

ライブラリー通信 ボタニカルアートと植物学

もちづき せん な
望月 千奈(司書)

インテリアやぬり絵として人気のボタニカルアートですが、植物学とは切っても切り離せない関係にあります。大場秀章の『植物学と植物画』では、そんなボタニカルアートと植物学との密接な関係性について紹介しています。

ボタニカルアートとは植物学を意味する「ボタニー」と「アート（芸術）」が合わさってできた言葉で、「植物学的美術」とも「科学的な植物画」とも訳すことができます。この本の中で大場は、ボタニカルアートを「植物の肖像画」として書いています。植物学的に見て正しくさらに芸術として美しいものがボタニカルアートとされているようです。

ボタニカルアートが歴史的に発展したのは、ヨーロッパのルネサンス期だそうです。海外から珍しい植物が移入されるようになると、植物を見て楽しむという園芸趣味が定着していき、植物学の発展とボタニカルアートの大流行に繋がりました。

文章と絵で植物を表したものを植物図鑑といいますが、日本の植物についての最初の図鑑は岩崎灌園（1786～1842）による『本草図譜』になります。灌園は日本の本草学と植物画の発展を支えましたが、植物学と植物画の近代化には『日本植物誌』を書いたシーボルト（1796～1866）の影響が大きいです。

近年では写真が植物画の代わりに使用されることが増えてきましたが、ボタニカルアートの美しさは未だに人を魅了し続けています。科学と芸術の間にあるようなボタニカルアートという存在。今後図鑑を手取る際に注目してみると、また違った楽しみ方ができるかもしれません。



大坂書房 1996年

空調等改修工事のため 休館中

2021年11月1日(月)～2022年3月15日(火) 予定



当館は、空調等改修工事のため休館中です。

なお、休館中も電話やメールによるレファレンスや問合せに対応しています。休館中の情報については、当館ウェブサイト、及び公式Twitter などでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

《 事前申し込みの講座 》

詳細は、博物館ウェブサイトや催し物案内をご覧ください。

●「早春の地形地質観察会」 [神奈川県西部(大磯丘陵周辺)]

日時／2022年2月5日(土)
10:00～15:00 ※雨天中止

内容／大磯丘陵周辺を8 km程度のコースで散策し、地形の遠望や地質の観察をしながら神奈川県北西部の成り立ちについて考えます。

対象／中学生～成人 10人
申込締切／2022年1月25日(火) 必着

●「ほねほねパズルで学ぶ 骨のかたちとくらし」 [小田原市を予定]

日時／2022年2月19日(土)
10:00～12:00

内容／タヌキやカモシカの骨格標本を観察しながら、動物の体のつくりやくらしについて学びます。

対象／小学生～中学生とその保護者 15人
※小学生は保護者参加必須
申込締切／2022年2月8日(火) 必着

催し物への参加について

博物館ウェブサイト(申し込みフォーム)、または往復はがきでお申し込みいただけます(締切日必着)。

往復はがきの場合は、1. 講座名、2. 開催日、3. 代表者の住所、4. 代表者の電話番号(昼間の連絡先)、5. 参加者全員の氏名、6. 年齢(学年)を明記してください。

応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1日50円/1人)への加入をお願いすることがあります。

最新の情報は、当館ウェブサイト、および公式Twitterでご確認ください。

[公式ウェブサイト]
<https://nh.kanagawa-museum.jp/>

[公式Twitter] @seimeinohoshiPR
[混雑情報Twitter] @seimeinohoshiCI

[問合せ先]企画情報部 企画普及課
TEL: 0465-21-1515

自然科学のつば

第27巻4号(通巻105号)

2021年12月15日発行

発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館
館長 平田大二

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499

TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846

編集 本杉 弥生(企画普及課)

印刷 株式会社あしがら印刷

© 2021 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.